

富士通コンポーネント IP-KVM FX-7101 富士通製サーバとの接続検証結果報告書



1. 検証目的

富士通コンポーネント IP-KVM FX-7101 に富士通製サーバ（PRIMERGY, PRIMEQUEST, SPARC Enterprise）を接続し、動作検証を行う。

2. 検証場所 / 検証期間

富士通検証センター（東京・浜松町）
2015年8月4日

3. 検証装置

◆ 装置概要

本製品は、ネットワークを経由した遠隔地のリモート端末(PC等)からブラウザを使用して、ターゲットデバイス(PC、サーバー等)のキーボード、ビデオ、マウス(KVM)操作を可能にする装置です。また、本装置はローカルのKVMポートにキーボード、モニター、マウスを接続し、ターゲットデバイスを操作することができます。

形 格	サーバ接続 I/F	サーバ接続台数
FX-7101S-NK	USB, VGA	1

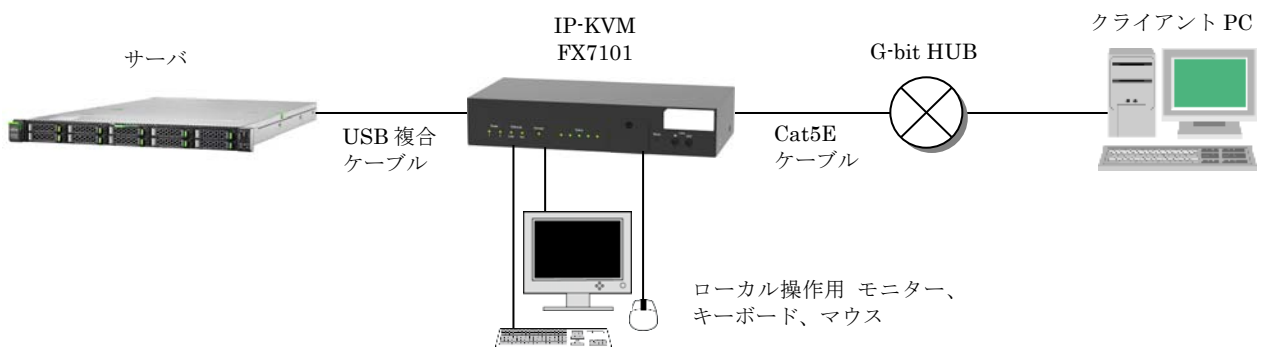
4. 接続サーバ

品名		OS
PRIMERGY	RX2530 M1	Windows Server 2012 R2 Standard (x64) Update
	RX200 S8	Windows Server 2012 R2 Standard (x64) Update
	TX2540 M1	Windows Server 2012 R2 Standard (x64) Update
	TX300 S8	Red Hat Enterprise Linux 6.5 (for Intel 64)
PRIMEQUEST	2800E	Windows Server 2012 R2 Standard (x64) Update
SPARC Enterprise	T4-1	Oracle Solaris 11.2

5. リモート接続用 PC <参考>

品名	OS, IE, Java
LM-A510B (マウスコンピュータ)	Windows 7 Professional (x86) SP1 Internet Explorer 11 Java 1.7.0_75-b13

6. 接続機器構成概要図



※下記サーバを接続して検証実施



PRIMERGY
RX2530 M1



PRIMERGY
TX2540 M1



PRIMERGY
TX300 S8



PRIMEQUEST
2800E



SPARC Enterprise
T4-1



PRIMERGY
RX200 S8

8. 検証項目

下記のテスト項目にて、動作状態を確認する。
 テスト項目中で機能が該当しない場合は評価対象外とする。

表 1 検証項目詳細

No.	テスト項目		内容	判定基準
1	コールドスタート		サーバ シャットダウン状態からの起動確認	サーバが問題なく起動すること
2	ホットスタート		サーバのリセットもしくはリブート実行による起動確認	サーバが問題なく起動すること
3	システム BIOS (OBP) 操作		システム BIOS (OBP) の表示/操作の確認	システム BIOS (OBP) が問題なく表示/操作できること
4	WebBIOS 操作		WebBIOS の表示/操作の確認	WebBIOS が問題なく表示/操作できること
5	キーボード	入力	日本語キーボード(OADG 準拠)でサーバへのキー入力確認	問題なくキー入力できること
		レスポンス	キー入力のレスポンス確認	違和感なくキー入力できること
6	マウス	入力	スクロールマウスでサーバへのマウス操作確認	問題なくマウス操作ができること
		レスポンス	マウスカーソルの追従性の確認	違和感なくマウス操作ができること
7	各解像度の画面表示		仕様上の対応解像度の表示確認	問題なく画面表示できること

9. 検証結果

- 1) 各機種にて、おおむね問題がないことを確認しましたが、一部のテスト項目において制限事項があります。詳細は検証結果一覧をご参照ください。
- 2) 各解像度の画面表示は各サーバの表示可能範囲にて問題ないことを確認しました。

サーバ	解像度		リフレッシュ(Hz)	結果
<PRIMERGY> RX2530 M1 RX200 S8 TX2540 M1	VGA	640 × 480	60,72,75	○
	SVGA	800 × 600	60,72,75	○
	XGA	1024 × 768	60,70,75	○
	XGA+	1152 × 864	75	○
	SXGA	1280 × 1024	60,75	○
<PRIMEQUEST> 2800E	UXGA	1600 × 1200	60	○
	Full HD	1920 × 1080	60	○
	WUXGA	1920 × 1200	60	○
<PRIMERGY> TX300 S8	VGA	640 × 480	60	○
	SVGA	800 × 600	60	○
	XGA	1024 × 768	60	○
	XGA+	1152 × 864	75	○
	QVGA	1280 × 960	60	○
<SPARC Enterprise> T4-1	VGA	640 × 480	60,75	○
	SVGA	800 × 600	60,72,75	○
	XGA	1024 × 768	60,70,75	○

10. 本検証内容についてのお問い合わせ先

富士通コンポーネント株式会社
 マーケティング統括部 第二マーケティング部
 Tel: 03-3450-1645
 E-mail: fcl-contact@cs.jp.fujitsu.com
 Web サイト: <http://www.fujitsu.com/jp/fcl/>

以上

[検証結果一覧]

PRIMERGY RX2530 M1 /
PRIMEQUEST 2800E /
SPARC Enterprise T4-1

○=OK, ×=NG, △=条件付 OK, -=省略または対象外

No.	検証項目		内容	判定基準	結果		備考
					ローカル接続	リモート接続	
1	コールドスタート		サーバ シャットダウン状態からの起動確認	サーバが問題なく起動すること	○	○	
2	ホットスタート		サーバのリセットもしくはリブート実行による起動確認	サーバが問題なく起動すること	○	○	
3	システム BIOS (OBP) 操作		システム BIOS (OBP) の表示/操作の確認	システム BIOS (OBP) が問題なく表示/操作できること	○	○	※1
4	WebBIOS 操作		WebBIOS の表示/操作の確認	WebBIOS が問題なく表示/操作できること	-	-	WebBIOS 適用外
5-1	キーボード	入力	日本語キーボード(OADG 準拠)でサーバへのキー入力確認	問題なくキー入力ができること	○	○	
5-2		レスポンス	キー入力のレスポンス確認	違和感なくキー入力ができること	○	○	
6-1	マウス	入力	スクロールマウスでサーバへのマウス操作確認	問題なくマウス操作ができること	○	○	
6-2		レスポンス	マウスカーソルの追従性の確認	違和感なくマウス操作ができること	○	○	
7	各解像度の画面表示		仕様上の対応解像度の表示確認	問題なく画面表示できること	○	○	

※1: SPARC Enterprise T4-1 において OBP 操作してから Solaris をブートさせログイン画面でキーボード入力が効かない現象が発生したが、VNC ウィンドウ「メニュー」-「USB 設定」の「Server USB」の USB Hot Plug 実行により復旧。

PRIMERGY RX200 S8 /
PRIMERGY TX2540 M1 /
PRIMERGY TX300 S8

○=OK, ×=NG, △=条件付 OK, -=省略または対象外

No.	検証項目		内容	判定基準	結果		備考
					ローカル接続	リモート接続	
1	コールドスタート		サーバ シャットダウン状態からの起動確認	サーバが問題なく起動すること	○	○	
2	ホットスタート		サーバのリセットもしくはリブート実行による起動確認	サーバが問題なく起動すること	○	○	
3	システム BIOS (OBP) 操作		システム BIOS (OBP) の表示/操作の確認	システム BIOS (OBP) が問題なく表示/操作できること	○	○	
4	WebBIOS 操作		WebBIOS の表示/操作の確認	WebBIOS が問題なく表示/操作できること	△ ※2	△ ※2	
5-1	キーボード	入力	日本語キーボード(OADG 準拠)でサーバへのキー入力確認	問題なくキー入力ができること	○	○	
5-2		レスポンス	キー入力のレスポンス確認	違和感なくキー入力ができること	○	○	
6-1	マウス	入力	スクロールマウスでサーバへのマウス操作確認	問題なくマウス操作ができること	○	○	
6-2		レスポンス	マウスカーソルの追従性の確認	違和感なくマウス操作ができること	○	○	
7	各解像度の画面表示		仕様上の対応解像度の表示確認	問題なく画面表示できること	○	○	

※2: WebUI の「操作の設定」-「USB マウス」において、「絶対値マウス(固定)」に設定されている場合、WebBIOS においてマウス操作が効かない。「相対値マウス」に設定するとマウス操作が可能となる。